

ある時まで一つの個体の一部であった存在が他と関わり新たな個となり続いて行く。命とはいったい何なのでしょう？ 日常でこのような事を真剣に考える機会というのはそれほど多くなく、生や死を直面したときに強烈に考えます。

動物のように動くことの困難なキノコや植物は風や動物、火山や水の流れなど、さまざまなものの力を利用し生き抜いています。

そのたくましさや柔軟さを知った時畏怖と憧憬を抱きます。制作という行為の中で思いを巡らせ表現する事で命について問い続けてきたいです。

山本 彌



2017.03.18 - 26
Iyo yamamoto exhibition
at Gallery Hasu no hana



Gallery Hasu no hana では2017年3月18日(土)~26日(日)まで、当ギャラリーでは2回目の個展となる山本彌の展覧会『流響ーリュウキョウ』を開催いたします。

山本彌は、『多摩美術大学生産デザイン学科テキスタイル』在学中、テキスタイルとは何かを模索するうちに、小さな単位の密集でできたものというテーマに辿り着きました。以降フェルトを素材とし、制作という行為の中で思いを巡らせ表現する事で命について問い続けてる作家です。

これまで山本は風や動物、火山や水の流れなど様々なものの力を利用し、生き抜くキノコや植物のたくましさや柔軟さに畏怖と憧憬を抱き、”命の始まり”に関心を寄せ制作してきました。その契機として、あと数分の差で死の淵にのぞむかもしれなかった出来事、妊娠や出産など作家自身に起きた経験があげられます。

2016年山本はイチジクをモチーフにした作品を発表しました。そこで、一つの個の終わりと多くの新たな命の始まり、腐食を促す微生物や放たれる香り、じわじわと過ぎる時間が一つの物体に関わり存在しているのだという事に気がつきます。

この制作を通じた視野の広がり、山本の作品に変化をもたらします。本展では、これまでに発表してきたキノコや葉といったそれぞれの個にとどまらず、一つの命が内包する無数に関わる多くの存在(引き継がれてきたものや取り巻く環境)も掘り下げ、作家にとって初めてとなる大規模なインスタレーション作品の発表いたします。

山本彌 | Iyo Yamamoto

1982年愛媛生まれ。多摩美術大学生産デザイン学科テキスタイル卒業。

HP: <http://www.iyoyamamoto.com/>

【個展】

- 2012年 『 雛花展 』 Gallery Malle (東京・恵比寿)
- 2013年 『 絲森展 』 Gallery URESICA (東京・経堂)
- 2015年 『 境殻展 』 Gallery Hasu no hana (東京・鶯の木)
- 2016年 『 光呼展 』 あるびいの銀花ギャラリー(埼玉県・さいたま)
『 熟零の時 』 Gallery Malle (東京・恵比寿)
- 2017年 『 流響ーリュウキョウ 』 Gallery Hasu no hana (東京・鶯の木)

【グループ展・その他】

- 2012年 『 花に集う 』 LOGOS Gallery (東京・原宿)
『 場と間 』 H.P.FRANCE (東京・原宿)
- 2013年 usagi pour toi ウィンドウディスプレイ (東京・原宿)
4人展 『 one ROOM 』 HANA わくすい (長崎・波佐見)
Playteime Tokyo インスタレーション (東京・渋谷)
BAtoMA in NAGOYA (愛知・名古屋)
- 2014年 二人展 『 幻実展 』 Gallery 乙庭 (群馬・高崎)
『 たんぼぼの幸い 』 Gallery URESICA (東京・西荻窪)
- 2015年 ART FAIR "HOSPITAL ART" Gallery Hasu no hana (東京・鶯の木)
梅田 蔦屋書店シーズンディスプレイ (大阪・梅田)
ルミネ池袋 en マーケット (東京・池袋)
- 2016年 『 アーティストのブローチ展 』 Gallery Hasu no hana (東京・鶯の木)
『 自然と美術の標本展 』 横須賀美術館 (神奈川・横須賀)
『 shape- 自然のかたち 』 Gallery URESICA (東京・西荻窪)

山本彌展『流響ーリュウキョウ』

2017年3月18日(土)~26日(日)

open: 月・火・土・日 12時~18時

水・金 15時~22時

入場料: 400円

問合せ: e-mail hasucafe@sw.sub.jp tel: 03-3759-8470

会場: Gallery Hasu no hana

アクセス: 東急多摩川線鶯の木駅より徒歩1分。改札を出て左方向へ進み、
交番のある信号を渡りさらに左に進み、長屋商店の5軒目です。



左
『流響ーリュウキョウ』(展覧会イメージ)
2017年 羊毛、布、糸
サイズ可変 写真: 八幡宏

右
『熟零の果実』
2016年 羊毛、布、ビーズ、
糸 6.5×6.5×8.0(cm) 写真: 八幡宏

表紙
『境殻展』(会場風景)
2015年

裏
『シメジ』
2016年 羊毛、布、刺繍糸、銅板
13.0×10.5×22.5 (cm) 写真: 八幡宏